

平和の思い 燈火（あかり）に込めて

恒久平和への祈りと東日本大震災犠牲者への哀悼の意、そして新型コロナウイルス感染症収束の願いを込めて、3月6日、枚方市岡東中央公園で約5000個のキャンドルの灯が夕闇を照らした。枚方市は1982年に府内で初めて「非核平和都市」を宣言。1989年、3月1日



平和の日

を「枚方市平和の日」と定めた。そのひとつ、「平和の燈火（あかり）」事業は、2012年から毎年開催されて今年で10回目を迎えた。新型コロナウイルス感染症の影響で、好きなことや、やりたいことが出来ない日々が続いている今、市内の小中学生たちや市民が世代を超えてそれぞれが平和を願うメッセージをキャンドルカップに書いた。今年も、2011年3月11日に発生した東日本大震災から10年目を迎え、犠牲になら



キャンドルカップに込められた平和への祈り

た多くの方々への哀悼と復興の願いをキャンドルに託した。「平和の燈火（あかり）」実行委員会は、津波で親を失った子どもたちなどの「暮らし」と「学び」を支援するため、「いわての学び希望基金」へ7,139円の寄附金を贈った。